

大泉図書館 図書館利用者懇談会

1. 日時 令和7年10月28日(火) 14時～15時30分
2. 場所 大泉図書館 2階 視聴覚室
3. 参加者 利用者 16人 図書館 3人(大泉図書館長、館長代理2人)
4. テーマ 「これからの大泉図書館
ー多様化する利用目的・地域連携・デジタル利活用ー」
5. 配布資料 『これからの図書館構想の概要』
『令和7年度利用者懇談会資料』クリップ止め・8枚
6. 次第
 1. 大泉図書館館長挨拶
 2. 図書館職員紹介
 3. 事業紹介等
 4. 懇談

大泉図書館利用者懇談会 会議録

1 大泉図書館長挨拶

皆様、本日はお集まりいただきまして誠にありがとうございます。4月から新しく館長として赴任してまいりました。(自己紹介)館長は初めてで、地域の方々にお世話になっております。お手元に次第もお配りしております。テーマは、これからの大泉図書館の多様化する利用目的とか地域連携ですとか、デジタル利活用など。他にも広くご意見をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

2 職員紹介

館長代理 2人

3 事業紹介等

「これからの図書館構想」理念のコンセプト番号に沿って、大泉図書館で実施した具体的な事業を、資料に沿って説明した。

① コンセプト1「世界の知と出会い、学びを豊かにする」

難民のものがたり展／地域活動パネル展／藤沢周平コーナー／アニメコーナー／「江戸かな古文書入門講座」／「知っておきたい年金の話」／「江戸の出版事情と葛屋重三郎」／「実作で学ぶ俳句講座」／出張事業やお話会の実施／図書館内だよりの発行／ラジオ番組への参加／お出かけ図書館 など

- ② コンセプト2「練馬の文化を継承発信する」
地域ならではの歴史や文化に関する展示／歴史講座「練馬の道とその歴史」／45周年記念事業計画／「アニメプロジェクトイン大泉」など
- ③ コンセプト3「知が交わり、創造を生み出す」
「大人のための絵本の会」／「本でつながる大泉読書サロン」／練馬つながるフェスタ
地域活動パネル展 など
- ④ コンセプト4「情報へのアクセスを支援する」
非来館型サービスの提供／練馬区電子図書館サービスが開始／ビデオ会議サービスを用いたイベントの同時中継の実施／講演会の同時中継による複数館同時開催・オンライン視聴／デジタルアーカイブの活用 など
- ⑤ 児童青少年事業の事業紹介
「おはなし会」／「よみきかせ」／「出張お話し会」／「中学校へのおでかけ図書館」／「夏休みの調べもの応援隊」／「課題図書展示」／「1日図書館員体験」など
- ⑥ 障害者サービス事業紹介
「デフリンピック関係の講演会」／「りんごの棚」／「バリアフリー映画会」など

4 懇談

利用者 多様化する利用目的ということで伺います。今いろいろニーズが変わって、子どもたちがちょっと話したりする場所を提供することも大事だと思います。令和六年の11月に実施した練馬区立図書館利用者アンケート、すべての図書館でアンケートを実施していて、大泉図書館を利用している方はこういう要望がありますよ、というのがあって。その中で私も感じたのですが、ほかの図書館とこの図書館の違いの一つとして、お庭がある。こちらの利用をもう少し増やしてくれないかというのが利用者アンケートの中でも結構出ている。毎年のように要望があるもの一つかなと。多様なニーズっていうのがある中で、私ももう少しこのお庭が活用できたらいいなと思うのですが、いかがでしょうか。

図書館 庭園は二か所あります。1階庭園は夏場暑く虫が出ますが、晴れの日には開放しています。2階の庭がその暑さにやられて植栽が枯れまして、新しく植えたのですが、今年の猛暑でまた枯れてしまい、芝生も全部やられてしまいました。

2階の庭は、切り株も残っているので全部抜去してから芝生も張り替える必要があります。整備を進めております。来年度中に復旧できたらとは考えております。

1階の庭は整備していますが、奥まっっており目立たないので告知をして、目立つようにしようと考えています。イベントに使うなどいろいろ考えてみます。

利用者 図書館構想というのは、これは練馬区で作られているのか、それとも大泉で作られたものですか。それと、この事業は全部大泉で一年間やられたということでしょうか。

図書館 図書館構想自体は練馬区立図書館として策定されております。すべての練馬区の図書館がこの構想に基づいて事業を運営しています。また、館独自の地域性ですとかコンセプトもあり、うまく整合性を取りながら図書館を運営していくという形です。今回ご紹介したものは、そのコンセプトに沿って地域性を加味して行った上半期の事業のご紹介です。

利用者 このイベントを我々知るのには、私自体は区報が一番ですけど、これだけのイベントをどういう形で区にアピールなさっているんですか。

図書館 厳選して人を集めたいものに関しては区報で告知して、それ以外は、館内でのポスター掲示とチラシ配布、図書館のインターネットで告知をします。それから近隣の町会の回覧板という形で回していただくこともあります。あとは近隣施設に持ち込み告知していただくという形で、アピールしております。

利用者 私は区報しか見る機会がないので、図書館以内でも告知はしていると思うんですがそれ以外となると、館内の掲示と、図書館ホームページでの告知という形になりますね。たくさんいろいろ催しをなさっているので、どういう形で知れるのかなと思って。

図書館 告知に関しては苦心しております。最近やっているのが、近隣の施設に持ち込みをして、図書館以外の場所で目につくようにしていただくことです。近隣施設にお願いをするのが効果があると思っております。

利用者 私はこの図書館構想ができたときに現場の教育委員会にいたので、コンセプトは知っています。これができたとき非常になんと素晴らしいと思いました。多様な世界の情報とかグローバリズムとかも述べてあるんですが、私は多言語、自国語が日本語でない人たちも一緒に生活しているわけですから、そういう人たちをもっと配慮したものがあってもいいんじゃないかなと思います。なかなか進みませんが。

せめて図書館の一か所には、韓国語と中国語の本があるといい。そういうご家族にとっては、気持ちの安らぎなんじゃないかなと。多言語の対応ということをもっとお願いしておきたいと思います。

図書館 図書館各館に外国語コーナーというのがありますが、洋書に偏りがちではあります。販路の問題もあって、外国語の資料の充実というのは問題と感じております。何をコンセプトにするかも重要で、その外国語を母国語とした方向けにするのか、啓発するためか、外国語に触れてみようというコンセプトなのか。地域性もあり、外国語を母国語とした方が多く住んでいる地域もあれば少ないところもあり。そういったことも含めて検討していきたく思っております。

利用者 デジタル関係ですけど、フリーWi-Fiが大泉図書館でもあるのですが、時間制限がありますね。それをもう少し長くしてほしいというご声もいただいているようで。デジタル活用はいいとして皆さんがネットにアクセスできよるような環境

も大事だと思いますが。時間の制限はどういった事情であるのかなど。今何分ぐらい利用可能なのか教えていただけますか。

図書館 練馬フリーWi-Fiのことかと思いますが、情報政策課が機器を設置して実施しているものです。制限時間がおよそ一時間です。メールアドレスを登録すると一時間接続できて、一時間経つともう1回再接続するという形で使うことができます。各館で別のWi-Fiを設置しているところもありますが、キャリアを契約しないと使えないものです。

接続案内は図書館でしております。一時間が短いというのは前からありますがなかなか図書館単独でどうこうするというのは難しいところではあります。

デジタル関係で電子図書館サービスが始まりましたが、使える方が練馬区民の方と、それから練馬区に通勤通学をされている方です。

図書館のカードを作っている方はログインして、図書館のウェブサービスに、利用者のカードの番号と、ご自身でパスワードを設定していただくと、図書館のウェブサイトに入れる。それと同じ感覚で電子図書館の方に別途アクセスすることができます。

それから、学校向けの読み放題パックというのがあります。学校の生徒さんが使うことができ、ギガスクール構想で、端末が一個ずつ配られておりますけれど、それを使って入ることもできるので、授業で使うこともできる。小学校、中学校には今後、図書館の方から使い方講座とか、やっていかなければいけないなどは考えております。電子図書館もそうですが、デジタル機器、スマホ講座をやってほしいとか、そういう声もいただいておりますので。そのあたりも課題として認識しております。

利用者 電子図書は、図書館に入るまでにはかなり時間的にもかかりますね。世の中で流行っているベストセラーの本をすぐに読みたいと言っても、絶対はない。自分で買って見るということですね。

図書館 新しい人気作家さんの本が出版されたら次の日、出版日に読めるかというところではなく、図書館の方で自治体として購入しますよということで選定をして、そのあとで書店さんに発注をかけて、納品されます。皆さんが使うものですから、今度は装備作業が入ってきます。カバーをかける作業があります。

新しいものが出版されてから図書館に入ってくるまでに長いと一ヶ月ぐらいかかります。電子書籍の方も契約によるので、そのあたりは難しいところです。

以前講演会で聞いたことがあります。著作権の権利関係が複雑になっていて、その関係で電子化するのが難しい作品もあるという話は聞いております。

利用者 図書館利用者の変化について聞きたい。年代別でもいいけども、そういった変化の話っていうのはあったのでしょうか。

図書館 図書館を利用されている方の年代は図書館によって違う面はありますが、比較

的高齢の方が多いの傾向としてはございます。イベントも、高齢の方が多くなってはおります。図書館としても現役世代や中高生向けの参加を促せるようなものを企画して、取り込んでいかなければならないというのは課題として認識しております。

利用者 例えば、利用者数の変化、例えば年代別とか、1日だったら時間別とか。利用者が減っているとか増えているとか、年代別でどうなっているとか、あと、時間帯によってどうだとか、曜日でどうだとかっていう、そういった数字上のデータというのはあまり取られてないのでしょうか。

図書館 来館者数のカウントはしています。1日何人来館があるか。貸し出しが何件か。統計としてとっております。今年度で申し上げれば、昨年度より来館者数、それから貸し出し数は増えております。新規登録者数も、昨年度の時点で少し増えておりました。若干利用が増えている傾向にあると考えております。

何かしら理由があると思いますので、そのあたりは図書館の方でもいろいろ考えて、施設として利用が増え続けるように施策、事業を実施し、展開していきたいなと思っております。

実は人数でしか計測しないので、年齢に関しましてはアンケートでとっておりますがアンケートもよく使っている方が主体にはなってきますので、偏りが出てしまうということもあります。そのあたりは課題に感じております。

利用者 町会とか自治会の活動をやっていると、非常に実感しますが少子高齢化が急激に進んでいます。特に6丁目当たりのあの場所の例でいくともう65歳以上の高齢者が30%近い。小学校の生徒数もかなり減っている。そんな中で図書館として、どの辺をターゲットにして集客していくのか、どんな催しをやっていくのかが中心になるのかと。

最近、藤沢周平の記念館に行きましたら、キッチンカーが来て、コーヒーも飲める。朝ドラがあって入場数が増えたからか。図書館も可能かどうかわかりませんが、座って木の下で食事したり、コーヒー飲んだりできるような場所もありますから。ちょっとキッチンカーも呼んで、良い悪いは別にして、集客っていうのを少し考えてみたらいいのかなという気もしました。

それからやはり地域活動をやってみると、当然子供は減って、お年寄りが増えてという現状ですが、その反面、ペットを飼っている方たちが非常に多くなっている。犬連れの方たちが図書館に来て利用できる方法もこれから少し考えていかれたらどうなのかなと思います。いま計画している公園でも、ワンワンステーションという形で、練馬区は公園や広場は犬が入れないわけですが公園の一部を使って犬を連れて置いておける場所がある。図書館でも多少そういう場所があれば、犬連れの方も利用できる。生活の変化に対応して、大泉図書館も考えていかれるとよい。

図書館 キッチンカーは、図書館で物品を販売するというのは、ハードルが高い面もあり

ます。

犬の散歩の話は面白い視点をいただいたなと感じました。図書館にお散歩がてら来館する方、たまにいらっしゃいますが、繋いで良いとか確かに図書館から告知していません。

盲導犬など介助犬は入っても大丈夫ですが、普通の飼い犬みたいな愛玩動物は施設内には入れないでくださいという形にはなっておりますので、施設内に入るのは難しいけれどもどこか一時的につないでおく場所は、所管にも確認した上で、検討したいです。危機管理に気を配らなければならないと思いますが、こちらの方でも考えてみます。ありがとうございます。

利用者 団体でパソコンなり携帯電話から自分たちの会場を取る、会議室、視聴覚を取ってというパンフレットをいただいて。それについてもお話が伺えるのか楽しみにしてまいりました。ID を登録してっていう内容で、必ず 1 回で何時間取っていうこと、2 回クールを取れることもわかっています。1 人だけ代表が登録してその時にできなかつたらもう一人、代理の人も登録できてやってもらえるのかなっていうこともお聞きしたいし、どうやって行きつくのか教えてもらいたいののでよろしくをお願いします。

図書館 会議室とか視聴覚室の予約に関しましては、練馬区の全体的なお話になっております。現時点で申し上げることができるのは、団体ごとに ID を作っていただいて優先団体登録をしていただくと、3 ヶ月前から申し込みできる、その辺の細かいルール、特に優先団体の方には、図書館の方で正式な案内が出ます。各団体さんに詳しくご説明をしてその段階でさらにご不明点などあれば承って所管と相談して正式に回答ができればなと思っております。

申し訳ありませんが、もう少々お待ちいただきます。一応来年の 7 月分から開始ということにはなっておりますのでその 3 ヶ月前、4 月から予約は始まりますので、それまでには確実に回答ができると思います。

利用者 図書館に関係ない団体もこの図書館のスペースを借りているのですか。

図書館 はい。

利用者 登録に関しても何か団体向けに、説明みたいなものがあるのですか？

図書館 各団体さんに図書館の方で都度ご説明します。今しばらくお待ちいただく形にはなります。

利用者 私は ID とかなんとかって、そういうのが苦手なものですから、来館してもいいですか？ ID とかなんとか登録しなくてもここに来て申し込みできますよね。

図書館 そのあたりも含め決まったらご説明いたします。

利用者 ちょっと観点が違うかもしれませんが、災害時の話をお聞きしたい。首都圏の直下地震がいつ起きかわからない状況ですが、例えばこの大泉図書館の場合、そういう災害や地震があった場合に、本棚の関係とか、あとその避難の関係とか、その

辺がちょっとわからない部分があるっていうのが一点。あともう一点が、実際その災害があった時に、小学校とか中学校は避難拠点になると思うが、災害があった時の図書館の位置づけは区の中で決まっていることってあるのですか？例えば災害時に図書館はこういう役割を果たすとか。その辺を少しお聞きしたい。

図書館 災害時の避難に関しましては、主に地震ですけれども、発災時に図書館の方でアウンスをします。揺れが強いと、図書館職員も当然まともに歩けませんので自分の身を守る訓練をしております。

実は昨日避難訓練をやりました。来館者の皆さんも我々も、まず身を守る。そして揺れが収まった段階で、図書館の方で避難をご案内する形になっております。図書館も一時避難場所というものになっております。何かと言いますと、避難所が本格的に立ち上がるまで図書館に一時的に避難していただく形です。水ですとか食料ですとか、毛布の備蓄もしております。本格的に近隣の避難所が立ち上がった段階で、そちらの方にご案内します。地域の避難拠点の一つとして機能していかなければならないので、訓練を実施したところでございます。タイムリーな質問でありがたい。

皆さんも、もし近隣で地震が起きて困ったら、まず区立施設を目指していただくというのは一つの避難の方法かなと思います。図書館でもそうですけれども、比較的頑丈な建物が多いです。町会の皆さんとも協力ができたらなと思っております。先日、防災ウォークというものに参加させていただきまして。近隣の町会の防災倉庫ですとか井戸も拝見させていただきました。いざ何か起きた時には近隣の地域と協力して乗り越えていきたいなと考えています。そのためには自分の身を守るというのも大事でございますのでヘルメットですとか、そういったものの整備も、きちっとしていきたいなと思っております。

利用者 結構昔からの建物ですけども、耐震補強とか、そういうのは必要ないような感じですか？

図書館 20年前に一度改修を実施しております。鉄筋構造ですので頑丈かと思えます。ただやっぱり想定外の事態というのは起こりますので、何が起こるのか分かりません。避難していただく際は我々もお声かけしますが、とにかく倒れそうなものや倒れるかもしれない部分からは這ってでも離れていただくのがいい。何か身を隠せる場所があればそこに身を隠していただくというのが生存率を上げる行動だと思います。

利用者 逃げるとは、図書館で例えば1階だったら、具体的に外へ出るってことですか？

図書館 いえ、みだりに外に出るのも実は考えもので、慌てて出てくると上から瓦が降ってくる事例もあり、ガラスが割れて飛散するかもしれない。例えばこの館で言えば、カウンターの前、カウンターの前ですとか、廊下のところだと倒れてくるものはありません。そういった開けたところにまず集まっておく。倒れてきそうなもの

のがあったらすぐ逃げるとするのが大事です。その後で状況に応じて外に避難することもあります。

例えば図書館がもう使えないような状態でしたら、一時避難場所として機能しませんので、そういう時は近隣の避難所に行くという形になります。それから、夜間に震度 6 弱以上の地震が起きたときは、我々が参集し一時避難場所として開放します。夜間は多少時間かかるかもしれませんが。この建物自体が無事であれば、夜間、時間はかかったとしても、一時避難場所として開放する形になっております。

利用者 図書館の中で火が出るものってあるんですか？

図書館 コンセントが各所にございますので、電気の漏電ですとかはあり得ます。実は本は燃えにくいので、図書館で火事は少ないです。図書館によってはガスで消火します。火事が起きた時には必ずガスが放出されるとかいうアナウンスがありますので、それを聞いたら皆さん指示に従って逃げてください。意識を失いますので危険です。とにかく何か有事の際は、職員の指示に従って、落ち着いて行動していただければと思います。

他に、健育会病院さん何かございましたら。

利用者 ありがとうございます。患者様の 7 割ぐらいは地域の方になっています。患者様がリハビリをして地域に戻られますけれども、ソーシャルワーカーなので、趣味の話になると、読書が好きっていう方もすごく多いです。今回、電子図書があることを初めて知ったので、患者様にご案内したいと思いました。月 1 回来れてなんとかなので本を返せない、どうしても遠くて来られないっていう方もいます。そういった患者様が本に触れられる機会が近くにあるといいなと思いました。

図書館 団体貸し出しというのがあります。施設でカードを作っていただいて施設として本を借りていただく。期間が長く三ヶ月ぐらい借りられます。そういったものを施設内でご利用いただくことはできます。あとは図書館の方でリサイクル本というのがあります。定期的に新しい本が入ってくると、その分抜かないといけないのですが、そういったものを近隣の施設、保育園などへの配布会もおこなっています。ご利用者が多いということであれば、ご相談いただければと思います。

他にいかがですか。

利用者 これまで図書館というのは本を借りて、静かにつてことでしたけども、お話もありましたように、これからは「動」という部分も求められると思う。高齢の方も本を借りたり新聞を読んだりする中で、一人でが好きな方もいらっしゃるかもしれませんが、いろんな繋がりと言いますか、同じ趣味とか繋がりができてくる、そういう場所に図書館というのはなり得るのかなと思いますので、いろんな可能性があると思います。

図書館 「居場所としての図書館」は、最近では図書館界でもトレンドになっております。読書推進計画というのがありますが中高生にアンケートを取ると図書館をもう

ちょっとおしゃべりできるといいなって意見が結構多い。友達と話しながら楽しく読める場所を希望するご意見が結構中高生にもありました。高齢者の方もお友達と来て気楽に使えるといいというご意見は多いと思います。ここのお部屋（会場の視聴覚室）の開放をもう少しうまいこともっていけないかなとは考えております。幸いなことに2階層になっていて、1階は普通の一般の図書館で、2階はお子さんが使える。お子さんが声を出して読んだりするがそれを許容するような構造ですので、2階のお部屋をそういった形で使っていけたらいいかと考えています。

新しい図書館はゾーニングを考えて作っているところが多くて、逆に静かに読みたい人を一角に集めるといった設計思想もあります。通常の空間は賑やかに使っていて、飲み物とかも自由にとなくなったりする。例えば武蔵野プレイスとか。できてから結構経ちましたけども。大泉図書館はもうできて45年ということになりまして、今から建物を新しくするというのはなかなか難しいところではあります。できる範囲で中のものをうまく使って、そういったゾーニングができればと考えております。

利用者 一般的なことですが、練馬区は図書館が少ないですね。人口から行くと、世田谷とか杉並区なんかは図書館が多いですよ。もうちょっと練馬区自体で図書館を作ってほしい。本だけじゃなくて、スペースとして図書館があるという、そんな考え方っていうのは、区にはないのですか。

図書館 図書館を増やすっていうのはご要望として上がりますけれども、全体の話になってしまうので、ここでどうこうというのは私の口から申し上げることはできないですが、光が丘図書館がそういったものを統括しておりますので、今のご意見自体は最終的には光が丘図書館にもお届けします。新しい図書館を作る計画は、今のところはないです。受け取り窓口というのを増やしていて、予約して受け取るという拠点があります。

利用者 例えば漫画だけすごく多いとか、世田谷区なんか。ここの図書館に行けば分かるっていうのがある。そこに行ったら専門のものをできるだけ置いてあると。やっぱり特別性を出すべきじゃないかなと思います。

図書館 練馬区の図書館は地域館という形で、各館がそれぞれ十万冊規模の蔵書を持って対応しております。分館みたいなどころよりは大きいです。

プラスして各館に実はカラーというものがあります。一番わかりやすいのは美術館と合体している貫井図書館。あそこは「7」という数字が頭につく分類で、美術とか芸術とかの関係本も多く集めている。大泉図書館もコンセプトありまして、頭に「4」がつく整理番号です。自然科学系の本。そういった本の保存担当になっていて、そういった本の収集を多めにしている所です。それぞれ図書館の本で背を見ていただくと、「0」から「9」まで番号が頭につく番号が振られ日本十進分類表という分類で整理しています。それぞれの館に、一応カラーはあります。告知が足

りないかなということをございますので、今のご意見いただきましたので参考にして、この図書館はこういうカラーありますよ、みたいなのを具体的に出せていただけたいと感じました。

利用者 例えば図書館に行かなくてもパソコンで本が見られるんですか？

図書館 電子図書館を導入している図書館は、図書館に来なくても見ることができます。ほとんどの自治体がそうだと思いますけど、その自治体に住んでいる方、働きに出ているとか、通っている学生さんが、その自治体のシステムに登録をして。図書館ですから基本的に無料で電子図書館を使うことができます。

利用者 今、練馬区はそういうシステムになっているんですか？

図書館 練馬区民は使えます。パスワードをお作りいただければ今からスマートフォンでもパソコンでも読めます。図書館の方でも告知が足りないと認識しておりますので、使い方講座みたいなのをやっていきたいと思います。

利用者 外国なんかだと地域の人たちが本を持ち寄って、ある場所にそれを置いて、またそれをある人が持っていく、リサイクルとかリユースとかっていう観点で場所を設置しているケース結構あります。例えば図書館でそういうことっていうのは可能なのかっていうのがまず一点で、もう一点が古い写真の収集の話させていただいたんですけども、例えば貴重な本とか、そういうのが家に眠っているケースがありますよね、その地域の中で。そういった本なんかを例えば練馬区の窓口として図書館に持っていけば、その本を貴重なものとして、練馬区として保存してもらえるのか。もしくは全部ゴミにしてくださいという形にするのか、個人で処分してくださいという形にするのか。そういった本を練馬区、図書館を窓口にして持って行ってもいいのか相談して、こういう昔の本があるけど、貴重か？などという相談なんか図書館で受け入れてもらえるかどうかっていうのを聞きたい。

図書館 寄贈という形でお受けすることができます。特に地域資料や古文書類が出てきたとかありましたら、とりあえず近隣の図書館にご相談をいただければ。図書館の方で判断をして、例えばふるさと文化館なんかは学芸員がおりますので、そういったところと協力をしたりできます。

写真であれば、わがまち資料館という施設で写真を集めています。そういったところでデジタル化をして公開、保存をすとか活動もしておりますので、もしそういった古い貴重なものと思しきものを見つけた場合は、図書館を窓口としてまずご相談いただくというのは方法としてはあります。

利用者 例えばそういう月間だとかなんとかっていうのをやって。例えば一年間のうちに、この時はそういう貴重なものなんかがあれば、持ってきてくれませんかっていうような催しをやると、なんかこう出てくるような気がするんですよね。

図書館 他館の話で恐縮ですが、貫井図書館で1回それをやったことがあります。やはり写真なんかは寄贈されまして、最終的にはわがまち資料館で公開するということ

につながったことがあります。今度45周年記念でも、そのようなことをしようと計画はしておりますので、また告知が出ましたらご相談いただければと思います。イベントの時に一緒にやると効果的だなと思っておりますので、そのような活動はしていきたいと考えております。

たくさんのご意見等ありがとうございました。今後の図書館運営の参考にさせていただきます。貴重なご意見どうもありがとうございました。

5 閉会の挨拶

図書館 様々なご意見をいただきありがとうございました。すべて回答できたわけではないことは理解しているところでございます。館単位でできるものはこちらの方で検討して、今後の運営に生かしていくつもりおります。また全体の話に関しましては、光が丘図書館の方で情報を総括した上で、生かしていくという形で、今後の運営の参考にさせていただきます。なお光が丘図書館の懇談会は11月20日 木曜日午後3時から5時まで行われます。本日は皆様ありがとうございました。